

詩画家 森田MiW × タオルメーカー 楠橋紋織のコラボブランド!
MiWさんのちょっと不思議であったかな絵が
タオルやハンカチ、くらしのアクセントになるモノタチに映しだされます。
毎日がもっとオシャレにハッピーに。しあわせの時間が流れます。



ガーゼ・
パイル
ハンカチ

ドッシリ、トポリトポリ、テトテ、チコチコチョコリ、ブク、シナンシナン…。
不思議な世界を歩く仔たちの
かわいい刺しゅうがアクセントのガーゼ・パイルハンカチ。
色、いろ、イロがポワンとはじけるやわらかハンカチです。

ガーゼ・パイルハンカチ 綿100%
[サイズ] 約25cm×25cm 各990円(消費税込)
Designed by Kusubashi Mon-ori in Japan, Made in China.

『カバと静かな雨』

ドッシリドッシリと歩くカバ。
ドッシリドッシリドッシリ。
そろそろカラダもノドもココロも。
濁ってきたなと思ったその時に
ポツリポツリポツリと静かな雨。
雨という名の雲の涙は、
カバのカラダとノドとココロを
しっとり癒しました。
そうしてドッシリドッシリの
足音には可愛い小さな
音符がついたような
気がします。
ドッシリカ ドッシリカ
ドッシリカ リカ



A-66644-86-PAP

『ハイエナと不思議な樹』

砂埃舞う暑い道。
トポリトポリとハイエナは歩いておりました。
太陽はいじめっこみたいにジリジリリ。
そうやってタテガミを照らし続けます。
ふ、と顔を上げると、道の先に
まあなんとも不思議なカタチの樹。
その樹の幹にそっとくっついてみると
水を貯めこんだ太い幹がなんともヒンヤリ。
ハイエナは少し元気になりました。
それってヒンヤリ出来たから
ってのもあるけれど、
大きくて不思議な
その樹だって生きていて
そのイキモノと同じ世界に
自分も生きていて
独りぼっちじゃない
ってことを知ったから。
ハイエナは少し木陰で
休んでいこうと決めました。



A-66645-86-BE

『アライキと踊る花』

テトテトと。
踊る花が咲く森をアライキは歩いておりました。
花があまりにしなやかに楽しげに踊るもんだから
いっそ一緒に踊ってしまおうか
とも考えたけれど、
でもねそれよりあっちの森に
たくさんアライキがいる
樹があるって聞いて。
だからねちょっとね
やっぱね急ぐのです。
ああ、よく見たらばさ。
テトテトと歩く
アライキの舌だけが、
ニョリニョリンと
リズムを刻んでおりますよ。



A-66646-86-Y

『リスと可愛い茸』

リスはね歩く、歩きます。
チコチコチョコリ。
チコチコチョコリ。
雨が降った翌朝の
色とりどりの可愛い茸たち。
茸たちの合間を。
茸たちの合間を。
時々ヒョイとジャンプして、
ツルリと滑って尻餅ついて。
そしたら可愛い舌を
ペロリと出してね、
そうしてまた歩くのです。
なんて可愛い
光景でしょう。



A-66647-86-R

『シーラカンスと海の森』

美しい美しい海の森。
ブクブクブクとシーラカンスは歩いておりました。
時々波の風で揺れながら
ウミウチワたちが歌う隙間に休みたり、
時々水の泡が湧き立つ
珊瑚の椅子に腰かけて
シーラカンス自身が
歌うこともありました。
「此処が世界でいちばん
幸せな場所なんだ。だってボクが
幸せなんだから。」
そんな歌詞の歌でした。
それはシーラカンスが
知っている
ただひとつの歌でした。



A-66648-86-B

『ネコと大きな街路樹』

クルマもヒトも誰もいない屋下がり。
一匹のネコがシッポをひょいと立ち上げて
シナンシナンと道を歩いておりました。
色鮮やかな街路樹がずっと続く
ステキな道でした。
ネコはどこに行こうか
決めてたわけではないけれど
時々葉っぱの隙間から射す
陽の光を眩しそうに
見つめたりしていたのでした。
それはそれは美しく
楽しい光でした。
晩ごはんの時間まで、
行けるごときまで
行ってみよう。
ネコのシッポが
また少し上がりました。



A-66649-86-OR